

# mallet KAT

## QUICK GUIDE



ALTERNATE MODE

# CONTENTS

## 1 malletKAT の基本 ..... 3

### 1 各ケーブルの接続 ..... 3

- 1. フットスイッチ入力 ..... 3
- 2. フットコントロール入力 ..... 3
- 3. MIDI 入出力 ..... 4
- 4. Expander 入力 ..... 4

### 2 電源の入れかた ..... 4

### 3 画面の見かた ..... 5

- 1. キットの種類と番号 ..... 5
- 2. レイヤーモード ..... 6
- 3. プレッシャーモード ..... 6
- 4. コントローラ番号 ..... 6
- 5. キーボードモード ..... 6
- 6. キット名または GM 音源名 ..... 6
- 7. MSB・LSB バンク ..... 7
- 8. プログラム番号 ..... 7
- 9. 音量 ..... 7

## 2 よく使う機能の設定編集 ..... 8

### 1 各設定に共通する操作 ..... 8

- 1. 項目を選択して編集する ..... 8
- 2. 設定をキャンセルする ..... 8
- 3. 設定をコピーする ..... 9

### 2 各設定の編集方法 ..... 9

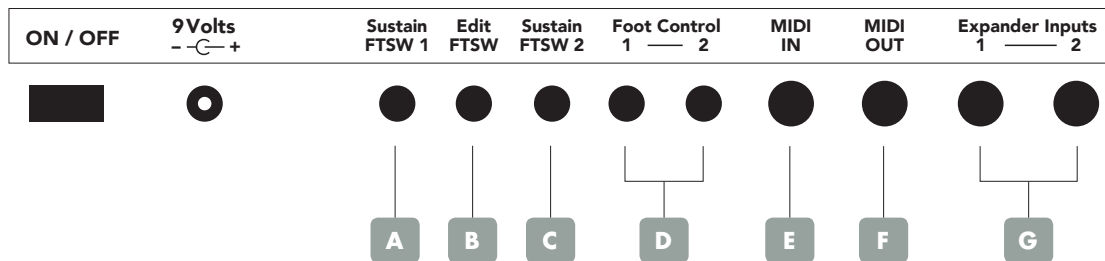
- 1. キットの種類と番号を切り替える ..... 9
- 2. レイヤーモード（コントローラの切り替えかた）を変更する ..... 10
- 3. プレッシャーモードを変更する ..... 11
- 4. 音の長さを変更する ..... 12
- 5. キーボードモード（音の重なりかた）の変更 ..... 14
- 6. ヴェロシティ（音の強さ）の範囲の変更 ..... 15
- 7. オクターヴを移動する ..... 16
- 8. プログラム番号を変更する ..... 16
- 9. 各コントローラの音量を変更する ..... 16
- 10. 鍵盤の音の高さを変更する（移調設定） ..... 17

## 3 こまったときには ..... 18

# 1 malletKAT の基本

## 1 各ケーブルの接続

ここでは、malletKAT 本体の入力端子と出力端子について説明します。



### 1. フットスイッチ入力

malletKAT の本体背面には 3 つのフットスイッチ入力端子があります。

それぞれに異なる機能が設定されており、1 つだけを使用することも、3 つすべてを使用することもできます。

#### A FTSW1 “Sustain”

フットスイッチを踏んでいる間、音が伸ばされます。ヴィブラフォンのペダルに相当します。

#### B FTSW “Edit”

設定の編集に使用します。

▶よく使う機能の設定編集：2 参照

#### C FTSW2 “Sustain”

オクターヴ移動、音源変更、ピッチベンド等に使用します。

### 2. フットコントロール入力 D

malletKAT の本体背面には 2 つのフットコントロール入力端子（Foot Control）があります。

音源によって音量変更、移調、ヴィブラート等、それぞれに異なる機能があらかじめ設定されています。

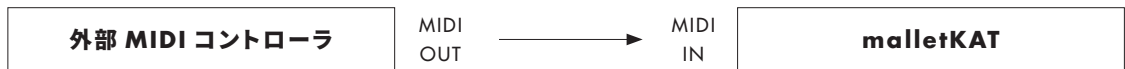
### 3. MIDI入出力

malletKAT の本体背面には MIDI 入力端子と出力端子の両方が、本体側面には MIDI 出力端子があります。

#### E MIDI IN

MIDI 入力に使用します。MIDI IN に MIDI ケーブルを接続して、お持ちの機器の MIDI OUT 端子とつなぎます (MIDI THRU)。

また、お持ちのパソコンで「malletKAT Visual Editor」を使用して malletKAT 本体を設定するときはこちらに接続します。



#### F MIDI OUT

MIDI 出力に使用します。MIDI OUT に MIDI ケーブルを接続して、外部音源を演奏できます。

パソコンに接続すると、お持ちの DAW に MIDI 信号を送信することもできます。



次の手順で MIDI 信号の送信先が設定できます。

- ① FTSW “Edit” を押しながら、三番目に高い E (KIT AUXILIARY) を叩く。
- ② No.25 のショートカットが割り振られた黒鍵を叩く
- ③ [INCREMENT] または [DECREMNT] を使用して送信先を選択する。  
内部音源のみ、外部音源のみ、両方、なしのいずれかを選択します。

### 4. Expander入力 G

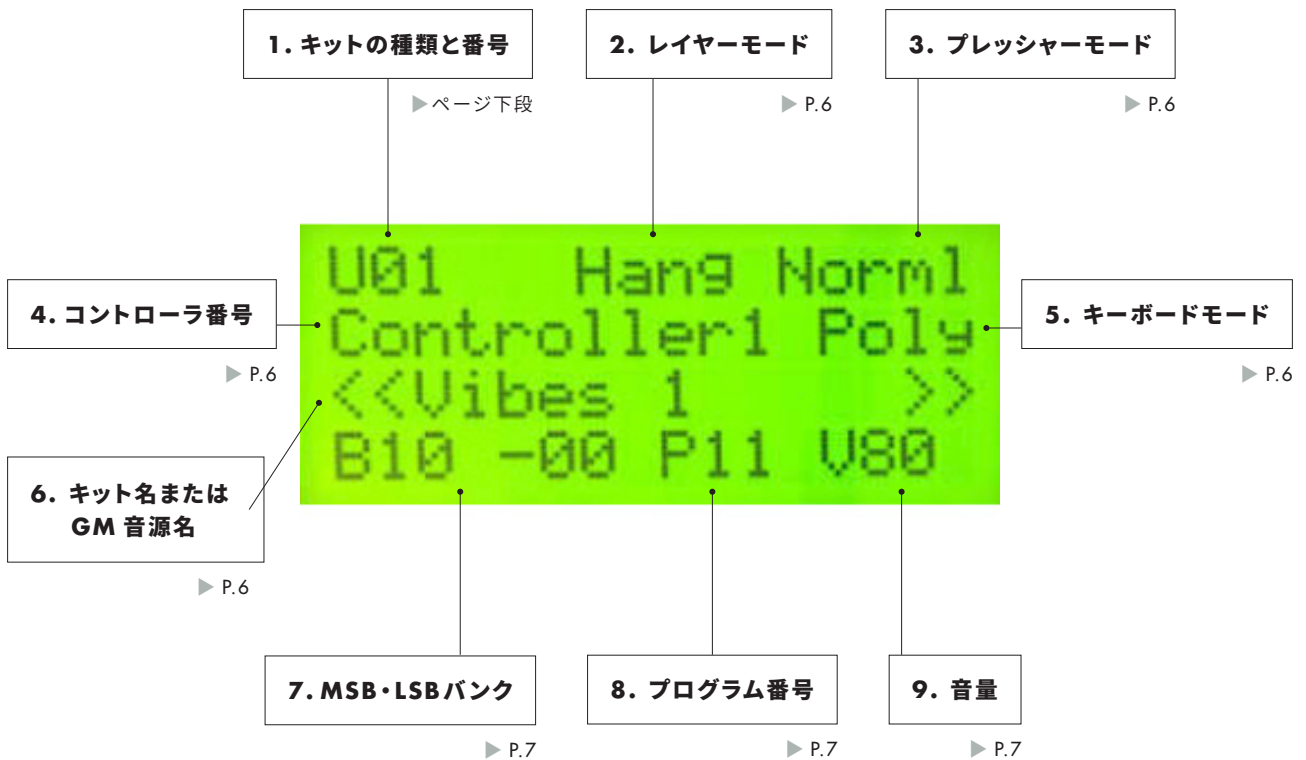
malletKAT の本体背面には 2 つの Expander 入力端子 (Expander Inputs) があります。

別売の「malletKAT Expander」を接続するとオクターヴを拡張できます。Expander の接続については、Expander の取扱説明書を参照してください。

## 2 電源の入れかた

- ① AC アダプタを本体背面にある「9 Volts」端子に接続する。
- ② 本体背面にある電源スイッチを「ON」にする。

### 3 画面の見かた



#### 1. キットの種類と番号

「F01」のように表示され、アルファベットはキットの種類を、数字はキット番号を表します。キットの種類は次の3つです。

<b>U</b> (ユーザーキット)	基本的にはこちらを使用します。 128種類あり、設定を変更／保存できます。
<b>C</b> (キットチェイン)	ユーザーキットの中からお気に入りの16キットを1チェーンとして保存できます。 16チェーンまで保存できます。
<b>F</b> (ファクトリーキット)	GM (General MIDI) に対応している外部音源を使用するときだけ使用します。 128種類あり、設定の変更はできません。

## 2. レイヤーモード

malletKAT は、2つのコントローラを利用して様々な表現が可能です。

レイヤーモードは2つのコントローラの関係を表します。

▶レイヤーモードの種類と変更方法：2 - 2 - 2 参照

▶コントローラとは：1 - 3 - 4 参照

## 3. プレッシャーモード

打鍵時の圧力のかけかたによる音の鳴りかたを表します。

▶プレッシャーモードの種類と変更方法：2 - 2 - 3 参照

## 4. コントローラ番号

現在使用しているコントローラ番号を表示します。

malletKAT には、独立した2台の発音機構が内蔵されており、それぞれ CONTROLLER1 / CONTROLLER2（コントローラ1 / コントローラ2）と呼ばれています。

1種のユーザーキットに対して2つのコントローラの設定情報が保存されます。それらを組み合わせることで、音色を瞬時に変えたり、重ねたり、イントネーションによって変更したりできます。

▶ユーザーキットとは：1 - 3 - 1 参照

## 5. キーボードモード

現在のキーボードモードを表示します。

キーボードモードでは、同時に複数の音を出せるようにするかどうかを変更できます。

malletKAT を MIDI コントローラとして使用したり、ピッチベンドをしたりするときにも使用します。

▶キーボードモードの種類と変更方法：2 - 2 - 5 参照

## 6. キット名または GM 音源名

ユーザーキットを使用しているときはそのキットの楽器名を表示します。

ファクトリーキットを使用しているときは GM 音源名を表示します。

ユーザーキットの表示名は変更できます。英数字と記号を使用し、最大12文字までの名前を付けられます。表示名を変更するには、次のように操作します。

- ❶ FTSW “Edit” を押しながら三番目に高い D を叩く。  
GLOBAL AUX（詳細機能）の設定モードになります。
- ❷ No.00 または No.44 のショートカットが割り振られたパッドを叩く。
- ❸ [INCREMENT] または [DECREMENT] を使用し、表示内容を変更する。  
[Forward] で次の文字へ、[Backward] で前の文字へ移動できます。

▶ユーザーキットとファクトリーキット：1 - 3 - 1 参照

## 7. MSB・LSBバンク

「B (MSB 番号) - (LSB 番号)」と表示されます。

## 8. プログラム番号

「P (番号)」と表示されます。

▶プログラム番号の変更方法：2 - 2 - 8 参照

## 9. 音量

現在のコントローラの音量が「V (音量)」と表示されます (値の範囲：0 ~ 127)。

▶各コントローラの音量の変更方法：2 - 2 - 9 参照

▶コントローラとは：1 - 3 - 4 参照

## 2 よく使う機能の設定編集

### 1 各設定に共通する操作

ここでは、malletKAT で機能の設定に共通する操作を説明します。

#### 1. 項目を選択して編集する

各設定を選択 / 編集するには、次のように操作します。本章に登場する設定のほとんどは、この操作を含みます。

- ① FTSW “Edit” を押しながら [INCREMENT] または [DECREMENT] を叩き、編集するコントローラを選択する。

設定の間、FTSW “Edit” は押し続けます。

- ② そのコントローラの何を編集するのかを、鍵に割り振られたショートカットキーを使用して選択する。

- ③ [INCREMENT]、[DECREMENT]、[DEFAULT] を叩き、設定を編集する。

- INCREMENT：数値を増やす / 次の項目へ移動する
- DECREMENT：数値を減らす / 前の項目へ移動する
- DEFAULT：初期状態の設定に戻す

- ④ FTSW “Edit” を離す。

設定が保存されます。

▶ コントローラとは： **1** - **3** - 4 参照

#### 2. 設定をキャンセルする

編集中に設定をキャンセルするには、次のように操作します。

- ① 設定の編集中に最も高い A# (CANCEL) を叩く。

設定の間、FTSW “Edit” は押し続けます。

- ② FTSW “Edit” を離す。

キャンセルした設定が保存されます。

FTSW “Edit” を離す前でも、一度キット番号を変更するとそれ以前の設定編集についてキャンセルはできません。設定を初期状態に戻すには、それぞれの設定画面から [DEFAULT] を選択します。



### 3. 設定をコピーする

設定をコピーするには、次のように操作します。

- ① FTSW “Edit” を押しながら最も高い G# (COPY) を叩く。  
設定の間、FTSW “Edit” は押し続けます。
- ② コピー先のキット番号を、[INCREMENT] または [DECREMENT] を使用して選択する。
- ③ G# (COPY) を叩く。  
確認画面が表示されます。
- ④ もう一度 G# (COPY) を叩く。  
コピーが実行されます。

▶ キットの種類と番号：1 - 3 - 1 参照

---

## 2 各設定の編集方法

---

ここでは、malletKAT でよく使う機能の設定の編集方法を説明します。

### 1. キットの種類と番号を切り替える

(1) キットを切り替えるには、次のように操作します。

- ① 編集するコントローラを選択する。
- ② 三番目に高い F (BANK) を叩く。
- ③ [INCREMENT] または [DECREMENT] を使用してキットを選択する。  
ファクトリーキット、ユーザーキット、キットチェインから選択します。
- ④ FTSW “Edit” を離す。  
設定が保存されます。

フットコントローラを使用して前後のキットに切り替えることもできます。

- ① FTSW “Edit” を押しながら三番目に高い D (GLOBAL AUXILIARY) を叩く。
- ② 使用するフットコントローラに応じたショートカットキーを叩く。  
フットコントローラ 1 を使用する場合は No.19 を、フットコントローラ 2 を使用する場合は No.20 を叩きます。
- ③ [INCREMENT] または [DECREMENT] を使用し、  
[SETUP ADVANCE] (次のキットへ) または [SETUP BACK] (前のキットへ) のいずれかを選択する。

▶ コントローラとは：1 - 3 - 4 参照

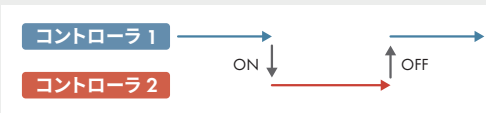




(2) キット番号を変更するには、次のように操作します。

- ① 編集するコントローラを選択する。
- ② 二番目に高い C (SETUP NUMBER) を叩く。
- ③ [INCREMENT] または [DECREMENT] を使用してキット番号を変更する。
- ④ FTSW “Edit” を離す。  
設定が保存されます。

## 2. レイヤーモード（コントローラの切り替えかた）を変更する

レイヤーモードを変更するには、次のように操作します。

- ① FTSW “Edit” を押しながら、次のいずれかの操作を行う。

	レイヤーモードの種類	適用方法
<b>Hang</b> (ハングモード)	<p>通常状態ではコントローラ 1 の音が鳴り、FTSW 2 “Sustain” を押している間はコントローラ 2 の音が鳴ります。例えば、コントローラ 2 のほうがオクターヴ低く設定されている場合、FTSW 2 “Sustain” を押している間はオクターヴ下がることになります。</p> 	三番目に高い C (HANG) を 1 回叩く。
<b>Split</b> (スプリットモード)	<p>指定の音域をそれぞれのコントローラに割り当てます。このとき、高音域側がコントローラ 1、低音域側がコントローラ 2 となります。2 つのコントローラに別々の音源を設定したり、2 つの音域を重ねたり、2 つの音域の間の音を出さないようにしたりもできます。</p> 	二番目に高い D (SPLIT) を 1 回叩く。
<b>Doub</b> (ダブルモード)	<p>常に両方のコントローラの音を同時に鳴らします。</p> 	二番目に高い E (LAYER) を 1 回叩く。
<b>VelS</b> (ヴェロシティシフトモード)	<p>パッドを叩く強さによって、音の出るコントローラが切り替わります。音源が切り替わる強弱のポイントを調整できます。</p> 	二番目に高い E (LAYER) を 2 回叩く。
<b>Alt</b> (オルタネートモード)	<p>奇数打目はコントローラ 1、偶数打目はコントローラ 2 というように、音の出るコントローラが一打ずつ切り替わります。</p> 	二番目に高い E (LAYER) を 3 回叩く。

レイヤーモードの種類		適用方法
<b>Mel1-3</b> (メロディ・コード モード 1 ~ 3)	単音を演奏したときと複数音を同時に演奏したときとで、異なる動作をする演奏するモードです。3つのバリエーションがあります。	
	<b>Mel1</b> コードが演奏されたとき、最初に叩かれた音のみが両方のコントローラで演奏されます。その後はコントローラ1のみの演奏に戻ります。	三番目に高い C (HANG) を 2 回叩く。
	<b>Mel2</b> コードが演奏されたとき、すべての音が両方のコントローラで演奏されます。その後はコントローラ1のみの演奏に戻ります。	三番目に高い C (HANG) を 3 回叩く。
	<b>Mel3</b> コードが演奏されたとき、最初に叩かれた音のみが両方のコントローラで演奏されます。その後はコントローラ2のみの演奏に変更されます。	三番目に高い C (HANG) を 4 回叩く。

② FTSW “Edit” を離す。

設定が保存されます。

### 3. プレッシャーモードを変更する

プレッシャーモードを変更するには、次のように操作します。

① FTSW “Edit” を押しながら、次のいずれかの操作を行う。

プレッシャーモードの種類		適用方法
<b>Norml</b> (ノーマルモード)	通常モードです。パッドに圧力をかけ続ける(マレットを押し付ける)ことで、ピアノのように音を伸ばすこともできます。	三番目に高い G (NORMAL) を 1 回叩く。
<b>Dampn</b> (ダンピングモード)	サステインペダルで音を伸ばしているとき、パッドを触ることでヴィブラフォンのようにミュートできます。	三番目に高い A (DAMPEN) を 1 回叩く。
<b>Aftch</b> (アフタータッチモード)	パッドにかける圧力を変えることで、MIDI アフタータッチの値を操作できます。	三番目に高い B (AFTER TOUCH) を 1 回叩く。
<b>DeadS</b> (デッドストロークモード)	デッドストロークを演奏したときに、別の MIDI チャンネルから信号を送信します。 例えば、デッドストローク時の音をサンプリングした MIDI を設定することで、奏法を再現できます。	三番目に高い A (DAMPEN) を 2 回叩く。

② FTSW “Edit” を離す。

設定が保存されます。

## 4. 音の長さを変更する

サステインペダルを使用していないときの音の長さを変更するには、次のように操作します。

① 編集するコントローラを選択する。

② 最も高い D (GATE TIME) を叩く。

③ [INCREMENT] または [DECREMENT] を使用し、音の長さを変更するか、モードを選択する。

- (1) 固定値
- (2) VELOCITY
- (3) LOOP LATCH
- (4) GROUP LATCH
- (5) AUTOGATE
- (6) GATE FC1
- (7) GATE FC2
- (8) INFINITE

のいずれかに設定できます。詳細については下記に記述します。

④ FTSW “Edit” を離す。

設定が保存されます。

### (1) 固定値

10 ミリ秒～ 6.1 秒の間で設定ができます。

### (2) VELOCITY に設定されている場合

サステインペダルを使用していないときの音の長さは、パッドを叩く強さによって自動的に調整されます。最長 / 最短の音の長さを設定するには、次のように操作します。

① 編集するコントローラを選択する。

② 最も高い D (GATE TIME) を叩く。

③ [VELOCITY] を選択する。

④ [FORWARD] を 2 回叩く。

⑤ [INCREMENT] または [DECREMENT] を使用して [MIN] と [MAX] の音の長さを設定する。

⑥ FTSW “Edit” を離す。

設定が保存されます。

音を伸ばす方法には「サステインペダルを使用する方法」と「パッドを長めに押し続ける方法」の 2 種類があります。後者を行うにはプレッシャーモードを [NORMAL] または [AFTERTOUCH] モードに設定し、ヴェロシティの最小値を少し高めに設定してください。

▶ プレッシャーモード : 2 - 2 - 3 参照

▶ ヴェロシティ : 2 - 2 - 6 参照

### (3) LOOP LATCH と (4) GROUP LATCH

外部ハードウェアやソフトウェアに保存されたある程度の長さのループ音源を、malletKAT を使用して再生 / 停止するときに使用します。黒鍵で音源を再生し、半音低い白鍵でそれを停止できます。[GROUP LATCH] に設定されている場合、最も高い C を叩くと、すべてのループを停止できます。

#### (5) AUTO GATE に設定されている場合

サステインペダルを使用していないときの音の長さは、演奏する速度によって自動的に調整されます。連続する音が重なったとき、前の音が短くなります。音の滑らかさを調整するには、[INCREMENT] または [DECREMENT] を使用してどのくらい前後の音が重なるのかを調整します。

#### (6) GATE FC1 または (7) GATE FC2 に設定されている場合

サステインペダルを使用していないときの音の長さは、フットコントローラ 1 または 2 によって調整できます。最長 / 最短の音の長さを設定するには、次のように操作します。

- ① 編集するコントローラを選択する。
- ② 最も高い D (GATE TIME) を叩く。
- ③ [VELOCITY] を選択する。
- ④ [INCREMENT] または [DECREMENT] を使用して [MIN] と [MAX] の音の長さを設定する。
- ⑤ FTSW “Edit” を離す。  
設定が保存されます。

#### (8) INFINITE

Hang モード使用時のコントローラ 2 にだけ適用されます。

FTSW 2 “Sustain” が押されている間はコントローラ 2 の音が鳴り、次に FTSW2 “Sustain” のペダルを押すまで音が伸ばされます。

[ROLL] モードを ON にすると、よりなめらかに演奏できることがあります。

[ROLL] モードの ON/OFF を切り替えるには、次のように操作します。

- ① 編集するコントローラを選択する。
- ② 最も高い D (GATE TIME) を叩く。
- ③ 任意の固定値を設定、または好きなモードを選択する。
- ④ [FORWARD] を 1 回叩く。
- ⑤ [INCREMENT] または [DECREMENT] を使用して [ROLL] モードを ON/OFF する。
- ⑥ FTSW “Edit” を離す。  
設定が保存されます。

## 5. キーボードモード（音の重なりかた）の変更

キーボードモードを変更するには、次のように操作します。

### ① FTSW “Edit” を押しながら、次のいずれかの操作を行う。

キーボードモードの種類		適用方法
<b>Poly</b> (ポリフォニックモード)	デフォルトではこちらのモードに設定されています。 複数の音を同時に鳴らすことができるので、コード演奏向きです。	二番目に高い G (POLY) を 1 回叩く。
<b>Mono</b> (モノフォニックモード)	一度に 1 つの音だけを鳴らすことができます。メロディやベース演奏向きです。どのくらい音が滑らかにつながるかを設定できます。	二番目に高い F (MONO) を 1 回叩く。
<b>RTC</b> (リアルタイムコントローラモード)	malletKAT を MIDI コントローラとして使用します。黒鍵の数字と白鍵の機能を MIDI 信号として出力します。	二番目に高い F (MONO) を 2 回叩く。
<b>RT+V</b> (リアルタイムコントローラ + ヴェロシティモード)	malletKAT を MIDI コントローラとして使用します。黒鍵の数字を白鍵のヴェロシティ（音の強さ）とともに MIDI 信号として出力します。	二番目に高い F (MONO) を 3 回叩く。
<b>PTW*</b> (ピッチホイールモード)	コントローラ 2 の白鍵を演奏することでピッチベンドができます。高音部の白鍵は音を高いほうへ、低音部の白鍵は音を低いほうへ曲げます。	二番目に高い F (MONO) を 4 回叩く。
<b>CTLA*</b> (バーチャルコントロールホイール A)	malletKAT 内のバーチャルコントロールを操作するときに使用します。コントローラ 2 の白鍵を演奏することで値を変更できます。	二番目に高い F (MONO) を 5 回叩く。
<b>CTLB*</b> (バーチャルコントロールホイール B)		二番目に高い F (MONO) を 6 回叩く。
<b>CTLC*</b> (バーチャルコントロールホイール C)		二番目に高い F (MONO) を 7 回叩く。

\* コントローラ 2 にのみ設定可能

### ② FTSW “Edit” を離す。

設定が保存されます。

## 6. ヴェロシティ（音の強さ）の範囲の変更

「MAXIMUM VELOCITY機能」と「MINIMUM VELOCITY機能」を使用することで、ヴェロシティ（音の強さ）の最大値・最小値を変更できます。ヴェロシティには音量だけでなく音質も含まれ、ヴェロシティの小さい音は「弱く演奏した音」、ヴェロシティの大きい音は「強く演奏した音」を指します。

また、VELOCITY CURVE 機能を使用すると、パッドを叩く強さと、それによって出る音の強さの相関関係を変更できます。

### (1) MINIMUM VELOCITY 機能 / MAXIMUM VELOCITY 機能を使用する

- ① 編集するコントローラを選択する。
- ② 最小値を設定するときは最も高い F (MINIMUM VELOCITY) を、  
最大値を設定するときは最も高い G (MAXIMUM VELOCITY) を叩く。
- ③ [INCREMENT] または [DECREMENT] を使用してヴェロシティの値を設定する。  
値の範囲は 00 ~ 127 です。
- ④ FTSW “Edit” を離す。  
設定が保存されます。

### (2) VELOCITY CURVE 機能を使用する

- ① 編集するコントローラを選択する。
- ② 最も高い A (VELOCITY CURVE) を叩く。
- ③ [INCREMENT] または [DECREMENT] を使用して VELOCITY CURVE の番号を選択する。  
値の範囲は 01 ~ 11 です。
- ④ FTSW “Edit” を離す。  
設定が保存されます。

VELOCITY CURVE のそれぞれ値の効果は次のとおりです。

01	叩く強さとヴェロシティは直線関係になります。
02	強めに叩いたとき、ヴェロシティの上がりかたが急になります。
03	弱く叩いたときのヴェロシティは大きく、圧力をかけるにしたがって中域でフェードアウトします。 ダブルモードと組み合わせるとクロスフェードできます。
04	弱く叩いたときのヴェロシティは小さく、圧力をかけるにしたがって中域でフェードインします。 ダブルモードと組み合わせるとクロスフェードできます。
05	弱く叩いたときのヴェロシティは大きく、強く叩くと無音になります。 コントローラ 1 のダブルモードと組み合わせると素早くコントローラ 2 に切り替えられます。
06	弱く叩いたときは無音で、強く叩くとヴェロシティは大きくなります。 コントローラ 2 のダブルモードと組み合わせると素早くコントローラ 1 に切り替えられます。
07	02 のカーブの逆です。 最も弱く叩いたときのヴェロシティが最大で、弱めに叩いているうちはヴェロシティの下がりかたが急になります。
08	フットコントローラペダル使用時に適したカーブです。

ヴェロシティをオクターヴごとに変更することもできます。

- ① FTSW “Edit” を押しながら三番目に高い D (GLOBAL AUXILIARY) を叩く。
- ② No.79 のショートカットが割り振られた黒鍵を叩く。
- ③ 調整ウィザードに従って設定する。

## 7. オクターヴを移動する

各コントローラのオクターヴを移動するには、次のように操作します。

- ① 編集するコントローラを選択する。
- ② 最も高い E (OCTAVE) を叩く。
- ③ [INCREMENT] または [DECREMENT] を使用して移動するオクターヴを選択する。  
値の範囲は 00 ~ 14 です。
- ④ FTSW “Edit” を離す。  
設定が保存されます。

## 8. プログラム番号を変更する

各コントローラのプログラム番号を変更するには、次のように操作します。

- ① 編集するコントローラを選択する。
- ② 最も高い C (PROGRAM CHANGE) を叩く。
- ③ [INCREMENT] または [DECREMENT] を使用して番号を選択する。  
値の範囲は 00 ~ 127 です。
- ④ FTSW “Edit” を離す。  
設定が保存されます。

## 9. 各コントローラの音量を変更する

各コントローラの音量を変更するには、次のように操作します。

- ① 編集するコントローラを選択する。
- ② 最も高い B (VOLUME) を叩く。
- ③ [INCREMENT] または [DECREMENT] を使用して音量を設定する。  
値の範囲は 00 ~ 127 です。
- ④ FTSW “Edit” を離す。  
設定が保存されます。

この手順ではそれぞれのコントローラの音量が調整できます。  
音源内蔵モデルの malletKAT では、本体手前にある VOLUME ボタンで全体の音量を変更できます。



## 10. 鍵盤の音の高さを変更する（移調設定）

ギターのカポタストのように、各コントローラで演奏する音全体を移調できます。

移調するには次のように操作します。

① 編集するコントローラを選択する。

② 二番目に高い A (TRANSPOSE) を叩く。

③ [INCREMENT] または [DECREMENT] を使用して何音移調するかを選択する。

値の範囲は -12 ~ +12 です。1 ごとに半音ずつ移調します。

④ FTSW “Edit” を離す。

設定が保存されます。

## 3 こまったときには

ここでは、malletKAT がうまく動作しないときの対処法を説明します。

---

### 反応性の悪いパッドがあります。

---

パッドに手やマレットなどを置かないようにして再起動してください。起動時に毎回カリブレーション（はかりの0を調整する工程）を行います。それでも反応性にムラがある場合、誤って何らかの設定に変更してしまった可能性があります。次の手順で初期化を試してください。

- ① FTSW "Edit" にフットスイッチを接続し、押し続ける。
- ② [FORWARD] と [BACKWARD] のパッドを同時に押し続ける。
- ③ 画面の指示に従って最も高い A# を押す。

上記の手順で初期化した後、再起動を行ってください。画面左上に「F01」と表示されるので、次の手順でユーザーキットに移って反応性を確認してください。

- ① FTSW "Edit" にフットスイッチを接続し、押し続ける。
- ② 三番目に高い F (BANK) を叩く。
- ③ [INCREMENT] または [DECREMENT] を使用して [USER SETUP] を選択する。  
画面左上に「U01」と表示されます。

---

### malletKAT がパソコンに認識されません。

---

次の項目を確認してください。

- malletKAT 本体側面の MIDI OUT を使用しているか。  
側面からは常に MIDI 信号が送られます。正面の MIDI OUT は、キットごとに使用 / 不使用を設定できます。
- malletKAT →パソコンの順で起動しているか。
- お使いの DAW/VST の MIDI I/O（入出力設定）が正しく設定されているか。

malletKAT 使用時、ドライバ等のダウンロードは必要ありません。

---

### malletKAT から音が出ません。

---

以下の原因が考えられます。

- スピーカー、アンプ、ヘッドホン等が接続されていない。  
malletKAT 本体にスピーカーは内蔵されていません。上記の機器を LINE OUT または HEADPHONE ジャックに接続してください。
- ファクトリーキットに設定されている（画面左上の番号が「F」から始まっている）。  
以下の手順でユーザーキットに変更してください。
  - ① FTSW "Edit" を長押しする。
  - ② 三番目に高い F (BANK) を叩く。
  - ③ [INCREMENT] または [DECREMENT] を使用して [USER SETUP] を選択する。  
画面左上の番号が「U」から始まります。



ALTERNATE MODE

公式ホームページ

<https://www.alternatemode.jp/>



LINE 公式アカウント

**Alternate Mode Japan**



メールでのお問い合わせ

[miyazaki@alternatemode.com](mailto:miyazaki@alternatemode.com)

本誌の内容によって解決できない問題があるときは、  
公式ホームページ内の「ヘルプデスク」で検索するか  
LINE 公式アカウント・メール等からスタッフまでお問い合わせください。